

(2002年10月 - 12月)

< 前ページからの続き >

健康管理システム、第22回医療情報学連合大会、福岡市、11月(報告)

"A Economic Assessment of Telecare: the WTP Approach," OSIPP/NIRA Workshop on Policy Evaluation, OSIPP, Nov. "The Relationship between Toyota and its Parts Suppliers in the Age of Information and Globalization," IDE International Workshop on Industrial Agglomeration, Dec.

床谷文雄教授「人工授精子等の父子関係」体外受精・ヒトクローン等規制の実効性とその意義、日本私法学会第66回大会「生命科学の発展と私法」、一橋大学、10月(報告)

橋本介三教授「英国リーズ大学副学長アラン・ピアマン教授来校」CBA研究の意見交換会、11月(司会)

「京都大学経済研究所助教授柴田章久氏」持続的成長について、CBA研究セミナー、11月(司会)

「CBA研究成果報告会」12月(司会)以上、科学研究費政策総合評価プロジェクト)

山内直人教授「Concept and Strategies of E-government», Autumn International Conference, Korean Association for Public Administration, Seoul, Oct.(モデレータ)

"Citizen's Mobility and Competitive Local Market Revisited in an Era of E-Government: A Conceptual Model", Autumn International Conference, Korean Association for Public Administration, Seoul, Oct.(討論)

"Is the Government Failure Theory Still Relevant? A Panel Analysis Using State Level Data (with Yoshiho Matsunaga)", ARNOVA Annual Meeting, Montreal, Canada, Nov.(パネリスト)

"OSIPP/NIRA International Policy Workshop on Project Evaluation", OSIPP, Osaka University, Osaka, Nov.(モデレータ)

今川拓郎助教授「The Essential Characteristics of Network Economy」日本経済学会2002年度秋期大会、10月(討論)

"Communication Technology and Cities"スタンフォード日本センターSPRIE研究会、10月(報告)

「日中情報通信産業協力」日中経済討論会ラウンドテーブルセッション、11月(モデレータ)

「Information Technology and Economic Growth: Discovering the Information Role of Density」アジア経済研究所国際ワークショップ「産業集積を通じた経済発展: 企業を惹きつける要因」、12月(報告)

「デジタルデバイドの実証分析」慶応大学公共経済学セミナー、12月(報告)

「情報技術による新しいライフスタイル提案」SCJ京都研究

会2002、12月(コーディネーター)

木戸衛一助教授「平和を学問の課題にすること」大阪大学、11月(講演)

「東欧と西欧の狭間 - 東ドイツ」立命館大学、11月(講演)

瀧井克也助教授「Fiscal Decentralization, Economic Growth and Economic Volatility - Theory and Evidence from State-level Cross-section Data for the United States」by Akai, Nishimura and Sakata, 理論計量学会、10月(討論)

"Adaptability vs. Productivity", 東京大学マクロワークショップ、東京、11月(報告)

星野俊也助教授 秋の市民講座「イスラム世界をもっと知ろう」伊丹市、10月(講演)

秋の公民館講座「国連と平和」芦屋市、10月(講演)

「21世紀のアジアを考える」日中研究者フォーラム」第5回会合、宮崎、11月(討論)

「グローバル化時代における危機管理の視点」大阪府国際交流促進連絡協議会、大阪市、11月(講演)

国連人道問題調整事務所アジア地域ワークショップ、神戸市、11月(実行委員)

日本国際政治学会・国連分科会、淡路島、11月(座長)

"Third Canada-Japan Symposium on Peace and Security Cooperation", Vancouver, Nov.(報告)

"University of Queensland Workshop on the Future of US Alliances", Brisbane, Nov.(報告)

駐大阪・神戸米国総領事館関西アメリカンセンター国際フォーラム「日本とアメリカ-9/11テロ以降のアジアの安全保障を考える」、大阪、12月(司会)

産経新聞「新世界学講座 一極構造の世界と日本の安全」大阪、12月(講演)

The United Nations University 'The Responsibility to Protect: Report of the International Commission on Intervention and State Sovereignty - Tokyo Follow-up Seminar - ', Tokyo, Dec.(討論)

Robert D. Eldridge 助教授「日米同盟の再設計 - 安全保障から考える」日本再生パネルディスカッション、東京、11月(パネリスト)

「大学改革について アメリカの視点」テレビ大阪・経済コロンブス」10月13日放送(出演)

坂田雅代(D2)「Fiscal Decentralization, Economic Growth and Economic Volatility - Theory and Evidence from State-level Cross-section Data for the United States」日本経済学会2002年度秋季大会、広島大学、10月(報告)

「地方分権化と経済成長・安定性: 理論及び米国クロスセクションデータを用いた実証」日本財政学会第59回大会、東京大学、10月(報告)

堤悦子(D2)「ベンチャービジネスの活性化支援策 - アント

レプレナーシップ研究からの提言 - 関西学院大学マネジメント研究会ベンチャービジネス部会、10月(報告)

フィールドワーク、調査など

Robert D. Eldridge 助教授「復帰後の沖縄と日米関係」についての資料収集とインタビュー、東京、沖縄、10月~12月

坂田雅代(D2)「観光行動調査アンケート」奄美大島、11月

学外の公的活動など

Colin McKenzie 教授「Asian Economic Journal」Managing Editor

辻正次教授「Price-cap 研究会」座長代理、総務省、10月「ARPU Fellow Program」企画委員、11月

「メディア融合時代における電気通信産業研究会」座長、情報総合研究所、12月

野村美明教授「インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション」運営委員会責任者、11月

山内直人教授「ソーシャル・キャピタル調査研究会」委員長(日本総合研究所、内閣府委託調査、2002年10月~2003年3月)

「NPO評価研究会」座長(地球産業文化研究所、経済産業省委託調査、2002年10月~2003年3月)

「非営利法人制度委員会」委員(経済産業研究所、2002年10月~2003年3月)

「大阪府NPO活動促進検討委員会」座長(2002年11月~)

「箕面市行政評価アドバイザー」(2002年11月19日~)

「政策分析ネットワーク第4回年次研究大会」プログラム委員(2002年9月~2003年1月)

今川拓郎助教授「世界情報サミット・専門家会合」委員、国際連合、12月

鈴木亘助教授「公的扶助研究会」委員(厚生労働省・国立社会保障人口問題研究所)、10月

星野俊也助教授「国連大学グローバルセミナー第8回神戸・淡路セッション」実行委員・グループアドバイザー、10月

Robert D. Eldridge 助教授「国連大学グローバルセミナー第8回神戸・淡路セッション」実行委員・グループアドバイザー、10月

坂田雅代(D2)「自治体経営評価モデル研究会」会員兼事務局、関西社会経済研究所、12月

武内真美子(M2)「豊中市行財政改革推進市民会議」審議会委員(2001年11月~2003年10月)

受賞、研究助成受領

辻正次教授 郵貯資金研究協会研究助成金、11月

山内直人教授 科学研究費補助金・基盤研究(A)(研究代表者)「民間非営利セクターの数量的把握と公共政策のあり方に関する理論・実証研究」(2002年度~2005年度)

山内直人(D2) Focus Field Awards, The Association for Research on Nonprofit Organizations and Voluntary Action, ARNOVA, Nov.

研究プロローグ

ロバート・エルドリッチ助教授

(日本政治外交史)

「博士号をとるよりもうれしかった」と振り返るのは、日本語検定1級に合格したこと。この若き日の出来事が本国でMBA(経営学修士)を目指していた米国人青年を一転、日本での研究生活の道に進ませた。

86年、米バージニア州リンチバーグ大学に入学。当初は歴史学部にも所属したが、2年目から元国務省職員という教官の元で国際関係を学び、3年次にはフランス留学を経験した。帰国後はワシントンD.C.の国際コンサルティング会社でインターンとして議会や大使館の担当となり、EC拡大についての研究・分析を行った。国務省で行われたセミナーにも参加し、国際関係の魅力に取りつかれる。

「21世紀は欧米だけではない。アジア・日本に目を向けよう」と、地方公共団体の主催するJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)により来日。兵庫県内の中学で英語教師となる。その後1年半にわたり大阪・豊中市内の語学学校で日本語を勉強し、同校設立以来欧米人で初という日本語

検定1級合格者となる。その日本語を活かし、神戸大学法学研究科前期課程に入学した。

96年に修士を取得、米国務省を受験しようと考えていたが、当時のクリントン政権下で試験が実施されず、恩師の五百箇頭眞教授からの薦めもあって博士課程に進んだ。99年に政治学博士を取得。サントリー文化財団研究員や平和・安全保障問題研究所を経て、01年からOSIPPに。キャンパスのある豊中市は日本語の勉強に励んだ思い出の地。日本に留まった理由に「日本からの発信力の弱さ」を挙げ、それを克服するため自らその義務を果たそうという思いもあったと言う。

大学院時代には阪神・淡路大震災を経験。仲間たちの死を堪えてボランティア活動をした切なる思いから、OSIPPの学生には「自らの目標を最も高く設定し、社会・国際貢献としてボランティアを積極的に行って欲しい」と語る。